



Press Release

2026年9月吉日

City Trial Japan 2026 in Kyoto

11月29日(日)全日本トライアル選手権最終戦(日本一決定戦)

京都市内で初開催となるモータースポーツの祭典！！

11月29日(日)、京都市左京区・岡崎公園(平安神宮前)にて、バイクトライアル界のビッグコンテスト『City Trial Japan 2026 in Kyoto』が行われます。京都市内でモータースポーツイベントが行われるのはこれが初めてとなり、歴史ある古都の街並みを舞台に、非日常の熱戦が繰り広げられます。

2023年～2025年は、国指定重要文化財である大阪市中央公会堂前・中之島通(大阪市北区中之島)を舞台に実施してきました。今年はその舞台を京都へ移し、全日本選手権の最終戦、いわゆる「日本一決定戦」として開かれます。難所の数々をマシンと共に駆け抜け、「日本一」を手にするのは誰か？！

近年はカーボンニュートラルの実現は世界共通の課題です。各企業CO2削減の重要なカギとされている「電動化」に関して、先行技術の研究開発に取り組んでいます。

トライアル業界でも電動バイク(EV)の可能性に着目され、現在上位を占めています。長いモータースポーツの歴史の中で新たな舞台がここから発信されます。



本大会をプロデュースするのは、日本最高峰の国際A級クラスのライダー藤原慎也(兵庫県西脇市出身)。バイク業界そしてトライアル業界を活性化させるために「City Trial Japan 2018 in Osaka」から企画。街中では実現できなかった規模感を実現させました。また、大会が行われる岡崎公園には全長約100mにも及ぶ世界規模のオリジナルの巨大セクションが完成します。

本件の告知及び当日の取材のご検討のほどよろしくお願い致します。

「City Trial Japan 2026 in Kyoto」に関する基本情報は
<https://city-trial-japan.com>をご覧ください。

■一般お問い合わせ先

株式会社scale(スケール) 宮迫 TEL:078-335-6896 y-miyasako@sca-le.co.jp

■大会に関するお問い合わせ先

株式会社BARIKI(バリキ) 加藤 TEL:06-6374-3238 kato@ba-ri-ki.co.jp



<開催概要>

イベント名称 : City Trial Japan 2026 in Kyoto

開催日 : 11月29日(日) 10:00~16:00 ※都合により時間に変更になる可能性があります。

※キッチンカーも出店

※雨天決行、荒天中止

会場 : 京都市左京区 岡崎公園 平安神宮前

内容 : バイクトライアルの大会

参加選手 : 10名(国際A級スーパークラス) ※全日本選手権第7戦までの10位以内のみ参加

入場料 : 有料観覧席7,000円(予定) ※無料スタンディングエリアございます。

主催 : City Trial Japan 実行委員会

共催 : 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)、京都市

後援 : メディア(予定)

スポンサー : 本田技研工業株式会社、ヤマハ発動機株式会社

株式会社松尾製作所、MAC TOOLS、住友ゴム工業株式会社他

サポート : Red Bull Japan

協力 : MFJ近畿地区トライアル部会

参加ライダー : 全日本選手権第7戦までの10位以内の選手

<バイクトライアルとは>

トライアルとは、高低差や傾斜が複雑に設定されたコースを、いかにオートバイに乗ったままで走り抜けることができるかを競うオートバイ競技。自然を舞台に争うアウトドアと、スタジアムやアリーナに人工障害物を設けるインドアがあります。その歴史は古く、20世紀初頭のオートバイ出現とともにイギリスで誕生し、「どこまで壊れずに走り続けることができるか」を競ったことがそもそもの始まりだと言われています。

その後、マシンの性能や信頼性が高まるにつれ、耐久性ではなく、ライダーのテクニックを競い合う現在の競技スタイルへと進化していきました。時には車体をピタリと停止させたり、時には後輪だけでとんでもない障害物を乗り越えてしまうなど、「静」と「動」を自在に操るライディングテクニック。

それはまさに、二輪車操作の基礎が全て詰まった究極のモータースポーツであり、見る者を魅了する最高のエンターテインメントでもあります。

トライアルの国内競技人口は数千人以上。その中でも技術の高さによって階級(ライセンス)が分かれており、世界選手権に通じる最高峰ライセンス「国際スーパーA級」は全国でもわずか15名程度。

コースの難易度はもちろん、そこを乗り越えて進むライダーの技術にも注目して楽しめる競技です。

<City Trial Japanとは>

ヨーロッパで人気の高いトライアル。しかし、日本では世界に通用するライダーが大勢いるにもかかわらず、まだまだマイナースポーツの域を出ることができずにいます。その大きな要因の一つが、やはり「目に触れる機会が少ない」ということ。そこで当実行委員会では、2018年4月21日に第1回目となる「City Trial Japan 2018 in Osaka」を通天閣の真下の本通り商店街を封鎖して初開催。2019年~2022年はイベントとして開催。2023年~2025年は全日本選手権最終戦(日本一決定戦)の位置づけとしての開催となりました。

2014年に大阪城西ノ丸庭園にて開催されたフリースタイルモトクロスの世界大会「Red Bull X-Fighters Osaka」では、20,500人の来場者を記録するなど、都市開催のモータースポーツへの関心が非常に高くなっております。大阪のシンボル「通天閣」の次は「大阪府中央公会堂前」、そして今度は京都のシンボル「平安神宮前」で「Trial」というモータースポーツを押し出すことで、非日常を作り出し、地元にもスポーツにも双方にメリットとなる大会を目指します。



〈主催選手 プロフィール〉



■ 藤原 慎也(ふじわら しんや)

出身地: 兵庫県 生年月日: 1990.01.06

血液型: O型身長: 180.0cm 体重: 64.0kg ライディング歴: 24年

戦績: 2014年 全日本選手権国際A級クラス シリーズチャンピオン

2015年～ 国際A級スーパークラスライダー ※現在は国際A級クラス

普段は山での大会が当たり前のこの競技。今回、街中で開催するのは8回目。

会場のスケール、集客規模、そしてライダーのパフォーマンス、

あらゆる面においてクオリティを求める「City Trial Japan 2026 in Kyoto」。

モータースポーツ界はもちろん、多くのメディアからも注目が集まるこの大会をオーガナイズした人物、それが地元関西・兵庫出身の国際A級スーパークラスのライダーである“藤原 慎也”です。

「City Trial Japan 2026 in Kyoto」が開催に至る背景には、彼がこの大会を作り上げる上で打ち立てたコンセプトがあります。

それが、「モータースポーツに希望を！ライダーに夢を！」というもの。

この大会は、日本では実現してこなかった非日常的なエリアでのレースシーンを展開することであらゆる可能性を追求してモータースポーツを普及することが最大の目標として作られています。

それはもちろん、出場するライダー達のためでもあります、彼らのパフォーマンスを見たオーディエンスに心から感動してもらうためでもあります。そこには、「若きライダーに夢を与えたい！今の業界を変えていきたい！」という強い思いが込められています。